

アルミ粉から水素製造

高岡のベンチャー「トヨタ」と装置

アルハイテック

環境ベンチャー企業のア
ルハイテック（高岡市）は
10日、トヨタ自動車と協力
し、工場から発生するアル
ミ合金の削り粉を原料に水
素を製造する装置の開発に
着手したと発表した。低コ
ストで純度の高い水素を安
定的に製造することが可能

となる。燃料電池車や水素
ステーションへの採用を視
野に、来年4月の販売開始
を目指す。

アルハイテックはこれま
で、アルミ缶などの家庭ご
みを特殊なアルカリ溶液に
入れて水素を製造する小型
装置を開発している。今回
はトヨタ自動車からエンジ
ン部品などの製造過程で発
生するアルミ合金の



削り粉の提供を受
け、装置を改良する。
既に完成した試作
装置はパイプに溶液
を循環させることに
より、アルミを連続
アルハイテックがトヨ
タ自動車と共同開発す
る水素の製造装置
— 高岡市オフィスバ
ク

投入しても水素を安定的に
取り出せる構造とした。石
油などで水素を製造するケ
ースに比べ、二酸化炭素(C
O₂)の排出量を46・8%削
減できる。水素の製造過程
で発生する金属粉「水酸化
アルミ」は医薬品原料など
に有効利用が可能という。
10日は高岡市の本社で実

証実験が公開された。経済
産業省は国内で販売する新
車について、2030年代
半ばにガソリン車をなく
し、燃料電池車などにする
目標を設ける方向で調整し
ている。アルハイテックの
水木伸明社長は「開発中の
技術が原油の代わりになる
と確信している」と話した。